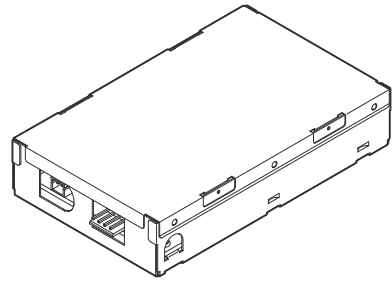


## 光ワイヤレスチューナーユニット

型名 **WT-UH51/ WT-UH52**  
(1ch 用) (2ch 用)



機器への組込手順については、光ワイヤレスチューナーパネルの設置説明書をご覧ください。

お買い上げありがとうございます

ご使用の前に、この「取扱設置説明書」と本機を組み込む機器に添付の「取扱説明書」および「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の背面に正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST0824-001A

### 安全上のご注意

#### ■ 本機の設置は技術を必要とします。

本機の設置は技術を必要としますので、設置工事は必ず販売店または専門の工事店に依頼してください。



#### ■ 本機を分解、改造しない。

火災や感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。



### 使用上のご注意

■ 本機は、光ワイヤレスマイクシステム組み込み専用チューナーユニットです。単体ではご使用になれません。本機は、光ワイヤレスチューナーパネル WT-P552-B/G (別売) を使って PS-M400P または PA-900 シリーズに組み込んで使用します。組み込み作業や設定は、お買い上げ販売店にご相談ください。

■ 光ワイヤレスチューナーユニット WT-UH51 は 1ch 専用、WT-UH52 は 2ch 専用です。

■ 使用できる受光センサーは WT-PS51 または WT-PS31 で、合計 4 個までです。

■ 光ワイヤレスシステムを利用するには、本機の他に別売の光ワイヤレスチューナーパネル、受光センサー、光ワイヤレスマイクロホンなどが必要です。

■ ご使用にあたっては、光ワイヤレスチューナーパネルの「設置説明書」、本機を組み込む機器の「取扱説明書」、およびその他関連する機器の「取扱説明書」をあわせてご覧ください。

■ 静電気による破壊を防止するために、次のことを守ってください。  
● 静電気は人体や衣類に帯電していますので、作業を始める前に金属物(ラックなど)に触れるなどして、必ず静電気を逃がしてください。  
● 基板上の部品には直接手を触れないでください。

### 仕様

電源	: DC15 V
消費電流	: 110 mA
質量	: 110 g
外形寸法	: 64 mm[W] × 21 mm[H] × 102 mm[D]
使用温度範囲	: 0℃～40℃
添付物・付属品	: 取扱設置説明書 ..... 1 保証書 ..... 1 接続ワイヤー ..... 1 ラベル ..... 1

※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

### お客様ご相談センター

☎ 0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950 [代表]

FAX (045)450-2275

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

## 日本ビクター株式会社

〒192-8620 東京都八王子市石川町 2969-2

電話 (042)660-7203

© 2008 Victor Company of Japan, Limited

LST0824-001A

### 設置上のご注意

■ 本システムは、赤外線を利用して音声を送信しています。安定して受信できる部屋の大きさのめやすは約 20m 四方です。光ワイヤレスマイクロホンや受光センサーの設定によって使用できる部屋の大きさが異なりますので、光ワイヤレスマイクロホンや受光センサーの取扱説明書でご確認ください。

■ 以下のような場合は、音が途切れたり雑音が出るなどの動作不良となる場合があります。  
● 光ワイヤレスマイクロホンと受光センサーの間に障害物がある場合。  
● 受光センサーに太陽光、蛍光灯、プロジェクター、OHP などの強い光が当たっている場合。  
● 受光センサーが赤外線リモコンの受光部に近い場合。  
● 受光センサー近くでプラズマディスプレイを使用している場合。  
● 同じチャンネルの光ワイヤレスマイクロホンを 2 本同時に使用した場合。

■ 以下のような場所では使用できません。

- 屋外。
- 他の赤外線機器が設置してあるところ。
- 水銀灯が設置してあるところ。

■ 以下のような場所には設置しないでください。

- 雨や水が直接かかる場所。
- 冷暖房機の吹き出し口付近。
- 蒸気や油分の多い場所や、可燃性ガス、腐食性ガスの発生するところ。
- 振動の激しいところ。

■ 受光センサーを窓際に設置すると、太陽光の影響を受けてノイズが発生したり、音が途切れたり、到達距離が短くなる場合があります。窓際からできるだけ (5m 以上) 離して設置してください。それでも改善されない場合は、カーテン・ブラインドを使用すると改善される場合があります。

■ 受光センサー設置の天井高は 2m～4m です。この範囲を超えるとノイズが発生したり、音が途切れたり、到達距離が短くなる場合があります。

■ 床・壁や天井の色が黒系統だったり窓が多い部屋では、光ワイヤレスマイクロホンからの光の反射が利用できずにノイズが発生したり、音が途切れたりする場合があります。

■ 受光センサーの接続は、必ず指定されたケーブルを使って長さを守ってください。指定以外のケーブルや長さで接続すると、十分な性能を得られない場合があります。

■ 受光センサーは、蛍光灯から離して設置してください。

### 保証とアフターサービス

#### ■ 保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

#### ■ 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

#### ■ 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

#### ■ アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または組み込む機器に添付のサービス窓口案内をご覧ください。最寄のサービス窓口にご相談ください。

#### ■ 修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に必要なことをお知らせください。

品名	: 光ワイヤレスチューナーユニット
品番	: WT-UH51/WT-UH52
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

#### ■ 商品破棄について

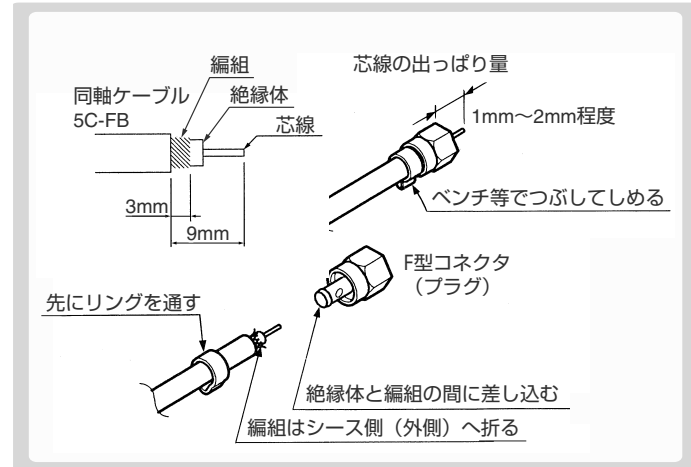
この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

### 受光センサーの接続

- 受光センサーの最大接続数は 4 個です。
- 受光センサーとの接続は同軸ケーブル 5C-FB を使用します。

#### 1 ケーブルの準備

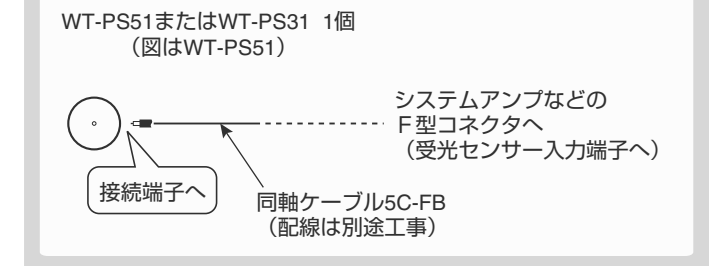
- 以下の図にしたがってセンサーカブラーに添付の F 型コネクタ(プラグ)をケーブルに取り付けます。



#### ご注意:

- センサーカブラーを使用しないときは、F 型コネクタを別途ご用意ください。
- 受光センサーに接続するときは、F 型コネクタを取り付けたケーブルの芯線を曲げないようにしてください。また、芯線が曲がっていないかご確認ください。
- F 型コネクタ接続後、ケーブルが抜けたりしないようにリングをしっかり締め付けてください。
- 接続ケーブルは 5C-FB を推奨します。5C-FB 以外を使用しますと、十分な性能を得られない場合があります。

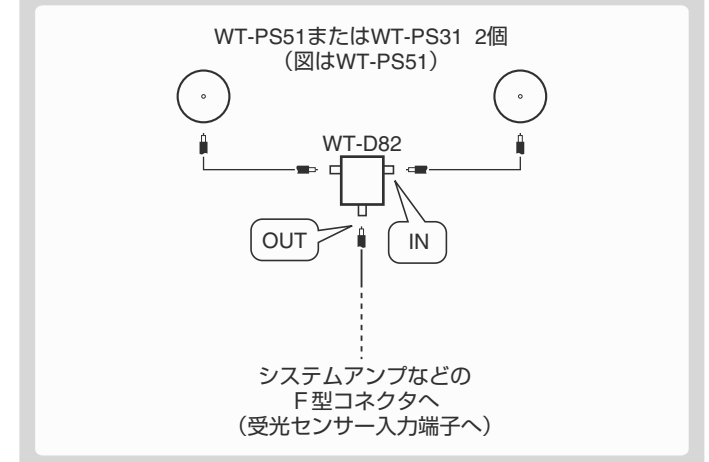
### 2 受光センサー 1 個接続の場合



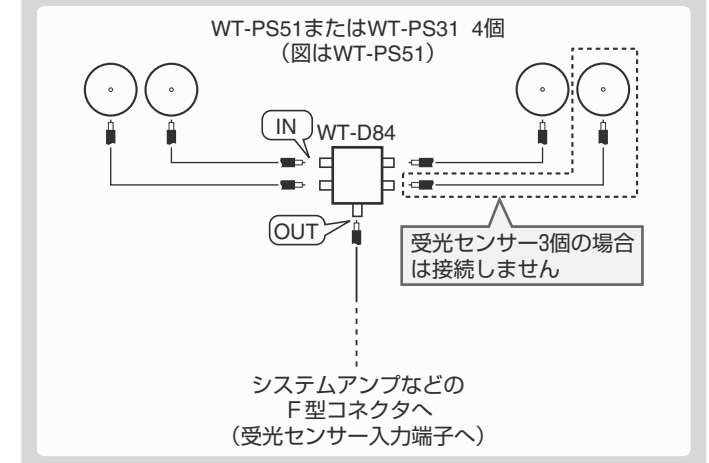
#### ご注意:

- 受光センサー 1 個の場合、障害物の陰にならないよう設置場所には十分注意してください。
- 受光センサー 1 個の場合、センサーカブラーは使用しません。直接システムアンプなどの受光センサー入力端子に、ケーブル長 100m 以下で接続してください。

### 3 受光センサー 2 個接続の場合



### 4 受光センサー 3 個または 4 個接続の場合



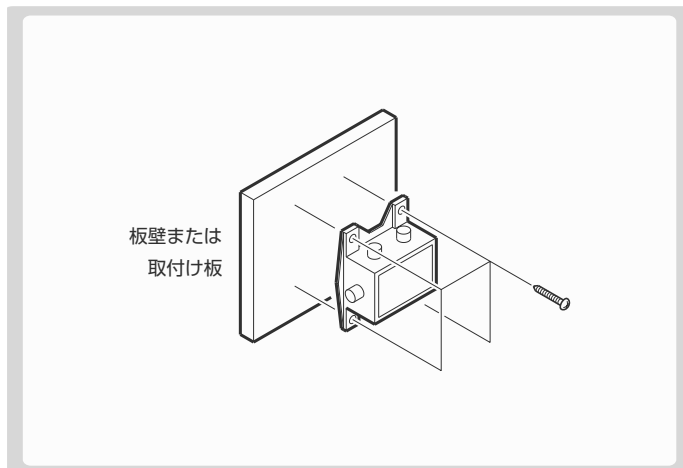
#### ご注意:

- 受光センサーを複数設置するときは、受光センサーとセンサーカブラーを接続するケーブルを同じ長さにしてください。(ケーブル長差 2m 以下) また、受光センサーから受光センサー入力端子までの長さ(センサーカブラー中継含む)を、それぞれ 100m 以下になるように接続してください。
- ケーブルを配線する際は、他の機器のケーブル(動力、調光器ケーブルやスピーカーケーブルなど)と束ねないでください。ケーブルを近づけると、ノイズが発生するなどの影響を受ける場合があります。
- 受光センサー入力端子には直流電源が出力されています。接続の際にケーブルを他の金属に接触させないでください。故障の原因となります。

## 設置のしかた

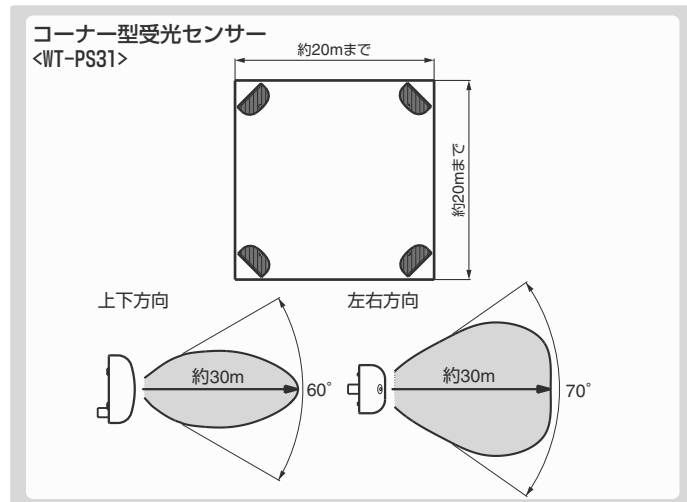
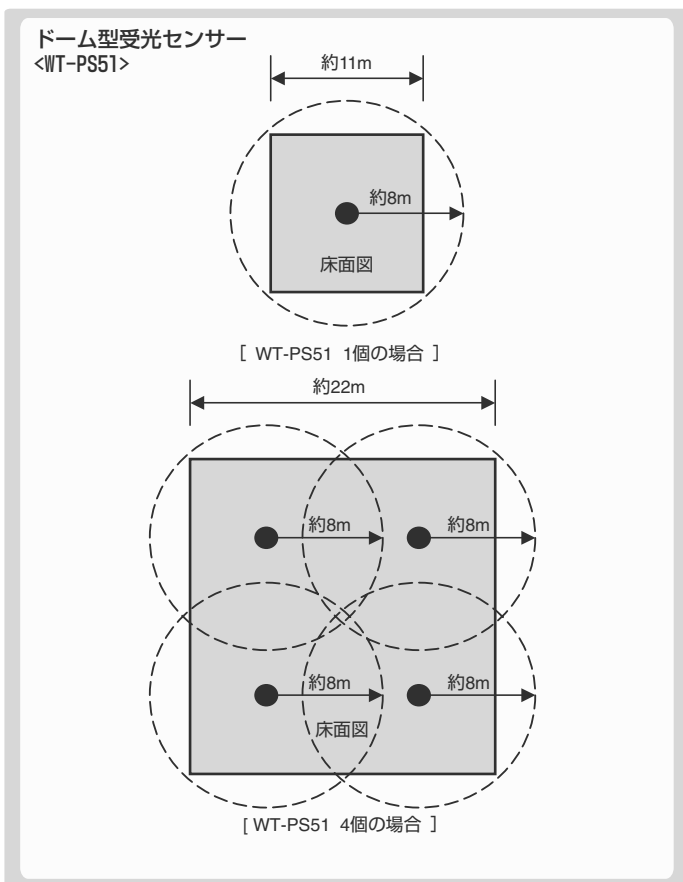
### ■ センサーカバーの設置

- 板壁または収納ボックスの取付け板に、センサーカバーに添付のネジで取り付けます。



### ■ 受光センサーの設置

- ① 設置場所の確認  
設置場所は以下の内容をご確認ください。
  - 障害物の陰にならないこと。
  - 太陽光、蛍光灯、プロジェクター、OHP などの強い光が当たらないこと。
  - リモコン受光部の近くでないこと。
  - プラズマディスプレイ（赤外線非対応モデル）の近くでないこと。
- ② 受光センサーの設置のしかた  
設置は受光センサーに添付のブラケットを使用して行います。受光センサーの取扱設置説明書をご覧ください。正しく安全に設置してください。
- ③ 受光可能範囲

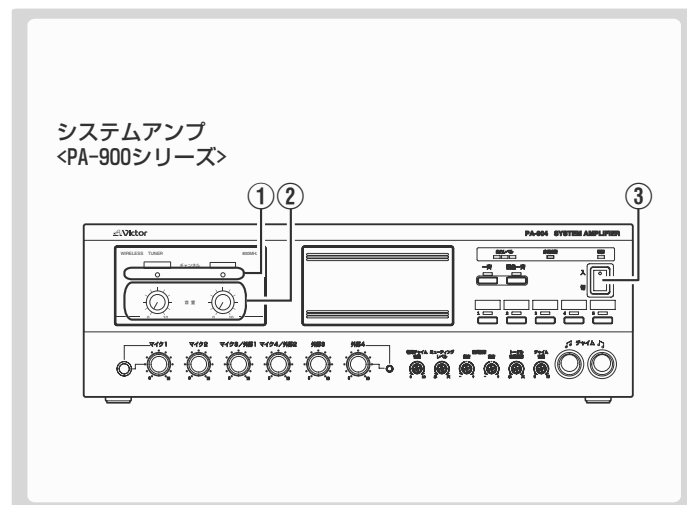


### ご注意

- 受光センサー本体、取付ブラケットおよびセンサーカバーをアースに落とさないでください。ノイズが発生したり、音が途切れたりする場合があります。
- 受光センサーは、天井高 2m~4m で設置してください。この範囲を超えるとノイズが発生したり、音が途切れたり、到達距離が短くなる場合があります。
- 受光センサーは、光ワイヤレスマイクロホンを使用する位置から見通せる場所、WT-PS31 の場合は、対角線上に設置すると有効です。
- 光ワイヤレスマイクロホンをどの場所でも使用しても光ワイヤレスチューナーの受信ランプが点灯することをめやすに受光センサーの設置場所、向き、角度を調整してください。
- 受信ランプが点灯していない場合は、ノイズが発生したり、音が出ない場合があります。
- 光ワイヤレスマイクロホンの電源を切った状態で、光ワイヤレスチューナーの受信ランプが点灯していないことをご確認ください。点灯している場合は、受光センサーが電波や光ノイズの影響を受けている恐れがあります。そのような環境への設置は避けてください。
- 受光センサーの設置状態は、光ワイヤレスマイクロホンの音声で最終確認してください。受信ランプが点灯していても、部屋の状況などによりノイズが発生することがあります。

## 操作のしかた

- 1 「受光センサーの接続」に従い、受光センサー、センサーカバー、システムアンプなどが正しく接続されていることを確認する
- 2 光ワイヤレスマイクロホンとシステムアンプの ③ 電源を入れる
  - 光ワイヤレスマイクロホンの電源ランプとシステムアンプの光ワイヤレスチューナーパネルの ① 受信ランプが点灯します。
- 3 光ワイヤレスマイクロホンに向かって声を出し、システムアンプの光ワイヤレスチューナーパネル「チャンネル 1 / チャンネル 2」の音量を調節する
  - ② 音量つまみの位置が最大に近い場合、光ワイヤレスマイクロホンに大きな音声を入力すると出力がはずむ場合がありますのでご注意ください。



### 光ワイヤレスマイクロホン使用上のご注意

- 光ワイヤレスマイクロホンの信号は、光ワイヤレスマイクロホンの下部および電源スイッチ裏側の発光部より送信されます。発光部および受光センサーの表面を手で覆うと通信不良となります。また、表面が汚れている場合も通信不良となりますので、汚れた場合は柔らかい布でふいてください。水ぶきの場合は、よく絞ってからふいてください。中性以外の洗剤、アルコール、シンナー類は変質し破損する恐れがありますので使用しないでください。
- 光ワイヤレスマイクロホンと受光センサーの間に障害物があったり、人が横切ったりすると、ノイズが発生したり音が途切れたりする場合があります。また、太陽光などの強い光の影響を受けた場合も同様です。
- 光ワイヤレスマイクロホンを 2 本同時に使用されるときは、1ch、2ch を各 1 台ずつご使用ください。同じチャンネルを複数同時に使用すると正常な通信ができません。
- 赤外線方式のリモコンを受光センサーに向けて操作すると、ノイズが発生したり音が途切れたりする場合があります。受光センサーは、リモコン受光部の近くを避けて設置してください。

## チャンネルと対応機種の一覧

本機は 1ch、2ch 専用です。3ch~6ch 対応の機種はご利用できません。

チャンネル	光ワイヤレスチューナー		光ワイヤレスマイクロホン		受光センサー		チャージャー	センサーカバー
	据置型 (EIA 1U ハーフ)	内蔵ユニット型	ハンド型	ペンダント型	ドーム型	コーナー型		
1ch	WT-PH51 (1chと2chに対応)	WT-UH51 (1chに対応)	WM-PH57 (チャンネル切換式)	WM-PH58 (チャンネル切換式)	WT-PS51 (1chと2chに対応)	WT-PS31 (1chと2chに対応)	WT-C52 (チャンネル関係なし)	WT-D82 または WT-D84 (チャンネル関係なし)
2ch		WT-UH52 (2chに対応)						
3ch	WT-PH53 (3chと4chに対応)	対応機種なし			WT-PS53 (3chと4chに対応)	対応機種なし		
4ch								
5ch	WT-PH55 (5chと6chに対応)	対応機種なし			WT-PS55 (5chと6chに対応)	対応機種なし		
6ch								